

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 （評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。）	事業方針	今後の方針 （充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。）
1	P20 基本施策（1）	【新規】 広報紙、ホームページなど での孤立死に対する意識 啓発	広報紙、ホームページなどにおいて啓発記事を掲載することで、行政と市民とが一緒に孤立死について考え、予防につながるよう積極的な啓発を行います。	情報課	◎	広報ながくて「統計情報・月間異動数」欄に孤独死・孤立死の人数を掲載し、地域の見守りの大切さを啓発し、孤独死の予防につながる情報発信に取り組んでいます。	継続	引き続き、広報ながくてに孤独死・孤立死の人数を掲載し、市民の「我が事」として考えることにつながる記事を関係課と連携して情報発信に努めます。
2	P20 基本施策（1）	緊急通報システム事業	一人暮らし高齢者、75歳以上高齢者世帯などを対象に緊急通報機器などを設置し、急病、事故などの緊急事態に緊急通報センターを通して、速やかな消防署による救助及び援助につなげることで、日常生活上の不安を軽減します。	長寿課	◎	年度末現在の利用者数は、26年度165世帯、27年度182世帯、28年度198世帯です。29年度11月末現在199世帯が利用しており、内独居高齢者が144世帯、後期高齢者が23世帯、シルバーハウジングが24世帯、その他（実質日中独居となる高齢者など）が8世帯で、本事業による救急搬送が毎月3件程度あります。	継続	今後も独居や後期高齢者世帯が安心して暮らし続けられるよう、見守り続けていきます。
3	P20 基本施策（1）	乳幼児健康診査、パパママ教室、育児教室	妊娠期から出産後の乳幼児期、その後の子育ても含め継続的に適切な情報提供を行うとともに、保護者の育児上の不安や悩みを話し合える場を提供し、楽しく子育てができる環境をつくれます。	健康推進課	◎	健康診査、教室とも計画どおりに実施し、子育て環境整備に努めています。1歳6か月児・3歳児・3歳8か月児健診はそれぞれ1回ずつ回数を増加しました。	継続	今後も受診や参加がしやすいよう回数や内容などの工夫に努めます。
4	P22 基本施策（2）	【新規】 支え合いマップの作成	実際に地域に住む人が、地域に困っている人がいるのか、どのような人のつながりや支え合いがあるのかを再確認し、地域の見守り体制の充実を図ります。	福祉施策課	◎	平成29年度は、市内8地区において、地域住民の支えあい、助け合いの気持ちを高めるための話し合いを行い、地域の居場所づくりなど地域住民主体の取組を行っています。また、新たな実施地区として、2地区が拡大しました。	改善	実施地区の拡大にあたり、職員の知識と技術の向上を図るため、研修等を実施するとともに地域の担い手の発掘、養成を目指していきます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
5	P22 基本施策(2)	広報紙配達時の状況確認	広報紙の配達時に、郵便物があふれているなど、異変を認識した際には報告してもらいます。	情報課	◎	広報紙の配達時に、異変を認識した際には報告するように、各配達員には、周知しています。	継続	今後も配達員と連携を図りながら、見守り活動に協力していきます。
6	P23 基本施策(2)	「長久手市地域見守り活動協定」の締結	新聞販売店や郵便局、宅配業者などと見守り活動協定を締結し、地域住民の異変情報を提供してもらいます。	安心安全課	◎	現在、71事業者と協定を締結し、締結業者を対象に年1回程度意見交換会を実施しています。	継続	今後締結業者をさらに拡大していきます。
7	P23 基本施策(2)	【新規】 野菜配布事業	農楽校事業で収穫した野菜を一人暮らし高齢者家庭へ配布することで、見守りを行います。	みどりの推進課	×	配布すべき野菜はありますが、一人暮らし高齢者家庭の情報を収集できず実施に至りませんでした。	廃止 (H29)	今後も一人暮らし高齢者への具体的な配布方法、見守り方法を定めることができないため、同事業は廃止とします。主旨を変えて福祉団体に対して農楽校の野菜利用を促していきます。
8	P23 基本施策(2)	行方不明高齢者保護ネットワーク	徘徊し、行方不明になった高齢者を地域の支援を得て早期に発見できるよう、一斉メール送信システムを活用した協力機関の支援体制を構築します。	長寿課	◎	行方不明になる恐れのある高齢者43人の登録があり、行方不明になったときには安心メール(11月末現在登録者数7,444人)を配信して情報提供を呼びかけます。これまではいずれも無事に保護されています。	継続	行方不明になる恐れのある高齢者は増加傾向であるものの、まだ事業自体の周知が十分とは言えないため、認知症家族交流会等でPRをすすめていきます。
9	P23 基本施策(2)	行方不明者の発見保護協力依頼事業	子ども、障がい者や高齢者などの行方不明者の速やかな発見、保護に向けて、警察、関係機関や関係課相互の連携の強化及び一元化を図ります。	安心安全課	◎	各課・期間との連携強化を図るため年1回連絡会議を実施しています。	継続	今後も各課・期間と連携を図りながら行方不明者の迅速な発見対応をしていきます。
10	P23 基本施策(2)	徘徊高齢者等家族支援事業	徘徊癖のみられる認知症の高齢者などを介護する家族に「発信機」を貸し出し、徘徊時の迅速な位置検索、保護を目指します。	長寿課	◎	年度末現在の利用者数は、26年度2名、27年度3名、28年度5名、29年度11月末現在5名です。	充実	新機種への更新等、利用者の利便性向上に向けた契約内容の見直し、事業の啓発、周知を進めていきます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

【事業方針】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
11	P25 基本施策(3)	母子保健事業(こんにちは 赤ちゃん訪問、乳幼児家庭 訪問)	3～4か月児健診受診前の乳児を 対象に家庭を訪問し、養育環境の把 握や助言を行い、必要に応じて適切 なサービス提供に結びつけます。ま た、育児相談や発達や発育について 確認を必要とする家庭を訪問し、生 活の場に合った保健指導を行います。	健康 推進課	◎	訪問事業は計画どおりに遂行しています。 平成29年度から新規事業として産後ケア事 業訪問型を開始しました。	継続	産後だけでなく、妊娠期から産後の育 児まで切れ目ない支援の体制整備に 努めます。
12	P25 基本施策(3)	【新規】 5歳児健康診査事業	支援の必要な発達障がい児を保護者 アンケートや相談事業を通して早期 に発見し、就学への移行が円滑かつ 適切にできるよう支援する体制を整 備します。	健康 推進課	◎	平成26年度から開始し、4年目になりま す。アンケート、個別相談、園訪問を実施。 平成29年度は通知文等の改良を行いまし た。	継続	事業の認知度の向上と関係機関との連 携強化に今後も努めます。
13	P25 基本施策(3)	【新規】 保健師地域活動	日常的に保健師が地域に出かけ、直 接、住民と対話することで、地域の ニーズ、課題を認識します。	健康 推進課	◎	西小校区共生ステーションや児童館、老人 憩の家、地域集会所への保健師の派遣及び 必要のある家庭には家庭訪問を行いまし た。平成29年9月末、実施場所数27か所、 派遣回数176回、家庭訪問回数108回。	継続	今後も保健師地域活動の拡大、健康相談 等の体制整備に努めます。
14	P25 基本施策(3)	国民健康保険 (臨戸訪問徴収)	国民健康保険証・通知などの未着世 帯訪問の際、安否などを確認し、関 係課と情報共有します。	保険 医療課	◎	H29.8月訪問件数10件 接触(後日)2件、転出2件、職権消除1件、 消除依頼中2件、対応検討中3件 訪問時、未接触の者については、関係課と 情報を共有しています。	継続	今後も関係課と情報を共有しながら、未 着世帯訪問時に安否などを確認します。
15	P25 基本施策(3)	後期高齢者医療 (臨戸訪問徴収)	保険料滞納、後期高齢者医療保険 証・通知などの未着世帯訪問の際、 安否などを確認し、関係課と情報共 有します。	保険 医療課	◎	H27.4月:当日接触5件、後日接触14件 H28.2月:当日接触15件、後日接触4件 H29.8～H29.11当日接触4件(対象4件) 訪問時に安否確認をしました。4件とも家族 を通じてご本人の情報把握ができ、問題は ありませんでした。	継続	今後も後期高齢者宅を訪問する際に安 否確認をし、関係機関(長寿課、収納課、 市民課、生活困窮窓口等)との連携に努 めます。
16	P25 基本施策(3)	女性消防団員高齢者宅防 火診断	一人暮らしの高齢者宅を訪問して火 災予防を呼びかけ、家庭内の防火診 断を実施することで、安否の確認な どを行います。	消防本部 総務課	△	対象者1,396人に対し、女性消防団員が10 人のため、独居の75歳以上、かつ、長久手 中学圏域等に対象者を絞り込み、訪問の可 否について通知を発送しております。	改善	対象者の絞り込みは単独での実施が困 難なため、関係課等と連携し、効果的な 防火点検が実施できるよう改善を図り ます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
17	P27 基本施策(4)	地域共生ステーション事業	市民が集まり、語り、地域のための取組を行う拠点となる地域共生ステーションを各小学校区に整備し、地域の課題を地域で考え地域で取り組むまちづくりを推進します。	たつせがある課	◎	市が洞小学校区では、11月にステーションを開所しました。 北小学校区では、おためし会を月1回、北ステフェスタや宿題イベント等のソフト面の取り組み、開設に向けたハード面のワークショップを行いました。 南小学校区では、2カ月に1回、検討会を行い建設予定地などについて地域住民と協議を行いました。	継続	引き続き、地域共生ステーションを各小学校区に整備するにあたり、市民ワークショップ等を実施します。
18	P27 基本施策(4)	【新規】 集会所などの既存施設を 拠点とした孤立死防止対策 事業	地域共生ステーション、集会所などに地域住民が交代で常駐し、地域のコミュニケーションの場を提供します。いずれは、一人暮らし高齢者の見守りやごみ出しなどの軽作業を手伝う活動として広がっていきます。	たつせがある課	○	地域共生ステーションにおいては、スタッフが常駐し、いつでもだれもが気軽に立ち寄れるコミュニケーションの場を提供していますが、一人暮らしの高齢者の見守りやごみ出しなどの軽作業を手伝う活動は展開できていません。	改善	集会所については、地域で管理しており、本計画期間の活動拠点としては困難であるため取りやめとし、各小学校区に整備する地域共生ステーションが拠点となるよう順次整備していきます。また、高齢者の見守りやごみ出しなどの軽作業を手伝う活動が地域でできるよう支援をしていきます。
19	P27 基本施策(4)	【新規】 保育園地域交流事業	保育園の「誕生日会」や「園開放」などの行事に、地域の65歳以上の高齢者を招き、園児と一緒に楽しく過ごす時間を設けます。	子育て支援課	◎	地域のおおむね60歳以上の方 ・平成29年11月末時点で登録者60人 ・4月～11月ののべ活動回数261回	継続	活動のPRに努め、登録者を増やします。
9	P27 基本施策(4)	行方不明者の発見保護協力 依頼事業（再掲）	子ども、障がい者や高齢者などの行方不明者の速やかな発見、保護に向けて、警察、関係機関や関係課相互の連携の強化及び一元化を図ります。	安心安全課	◎			

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
20	P27 基本施策(4)	児童館事業	18歳未満の子どもを対象とし、遊びや生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成します。	子育て支援課	◎	全6館での入館者数は90,803人(H28年度)で、同年齢、異年齢の子どもたちが日常の遊びや行事を通して利用しました。また、幼児教室を全108回開催、一般行事として、陶芸教室、料理教室、人形劇観賞会等の全体行事及び工作、ゲーム等の行事を開催しました。児童館まつりを市内4箇所で開催し、約1,890人の参加がありました。また、地域の住民及び近隣の学生に、児童館活動の補助、遊びの伝承役、環境整備等、これまで培われた経験や技術を活かして様々な活動のお手伝いをしていただく中で、地域の子ども、子育て中の保護者たちと世代間交流を図る「児童館おたすけたい」を平成28年10月から開始しました。	継続	児童館を地域における子育て支援の拠点とするとともに子どもの健全育成の場とします。地域のボランティアと共に進める児童館活動の推進を図ります。児童館連携を基本目標として、児童館が地域の子どもの居場所となるよう、事業を継続します。 地域の人材を活用した「児童館おたすけたい」の活動を広めるとともに、子どもに健全な遊び場を提供し、その健康増進及び情操を豊かにするため、各児童館行事を引き続き実施します。
21	P27 基本施策(4)	【新規】 在宅医療福祉連携事業	地域包括ケアシステムの一部を担う、在宅医療と介護職などの連携を円滑にするため、電子連絡帳の導入などを推進します。	長寿課	◎	H29.12月現在、電子連絡帳は126施設で登録され、402人の支援に活用されています。	継続	今後も電子連絡帳の活用、多職種の連携を推進し、要支援者の在宅での暮らしを支えます。
22	P28 基本施策(4)	【新規】 徘徊高齢者搜索模擬訓練	自治会、地域団体などの協力を得て、徘徊高齢者の搜索訓練を実施します。	長寿課	△	平成26,27年度と行政主導で市民や事業者の協力を得て訓練を実施してきましたが、認知症を地域全体で見守るという意識を市民や事業者に高めてもらうために、訓練の実施という結果にこだわらず、地域の認知症理解を深めていくプロセスを重視して、市民や事業者が主体となった訓練を働きかけていきます。	改善	これまでの訓練で、徘徊高齢者の問題関心は高まったものの、認知症の方の見守りを通じた地域力向上という主目的は果たせていません。訓練の背景にある社会の要請等をしっかり伝え、地域が主体性を持って訓練の実施ができるよう、地域での認知症理解の底上げを図り、訓練開催の支援を行うことに注力していきます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
23	P32 基本施策(5)	障がい者相談支援事業	障がい者の困りごと全般の相談を受ける窓口として、内容によって必要な制度やサービスの利用につなげ、障がい者の自立した生活を支えます。	福祉課	◎	平成30年度の基幹相談センター設置に向け、相談員を増員し相談支援体制の強化を図りました。	充実	平成30年度の基幹相談センター設置に向け、関係者で組織体制の整備等を検討し、困難ケースへの対応・支援の充実を図っていきます。
24	P32 基本施策(5)	【新規】 生活困窮者自立促進支援事業	生活困窮者が深刻な状態になる前に包括的、継続的な自立支援を行います。平成25・26年度はモデル事業として、自立相談支援事業と就労訓練事業を行います。	福祉課	◎	必須事業の自立相談支援事業と住居確保給付金事業の他、任意事業の家計相談支援事業、就労準備支援事業、子どもの学習支援事業、その他事業として個別訪問調査を実施するなど事業の充実を図っていきます。	継続	困難ケースの対応が増えているため、相談支援員の研修や関係機関との連携を深め、地域資源の開拓を進め、支援の充実を図っていきます。
25	P32 基本施策(5)	子育て支援センター事業	親子の交流の場の提供、子育てなどに関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習会などを実施します。	子育て支援課	◎	育児相談や育児に関する情報提供のほか保護者同士の交流の場の提供を行っています。平成28年度の入館者数は24,673人、家庭児童相談室の相談件数248件でした。平成29年度の事業としては、リズム遊びぴよんぴよんを12回、育児講座を5回、親子で遊ぼう教室を3回、みんなあつまれ!!遊びのひろばを4回実施しました。(平成29年12月13日現在)	継続	申込みのある育児講座や親子の教室は申込開始からすぐに定員を満了状況です。事業実施後には、参加者にアンケートを実施し、意見を参考にし次年度の事業内容の見直しを行っていきます。
26	P32 基本施策(5)	要保護児童対策事業	要保護児童の適切な保護、要支援児童及び特定妊婦への家庭訪問、面接など適切な支援を行います。	子育て支援課	◎	平成28年度は、要保護児童22人、要支援児童37人、特定妊婦3人の合計62人に対して、児童の保護、家庭訪問、面接などを行いました。	継続	児童虐待防止に関する市民への周知、関係機関との連携、相談担当者の資質向上等により、支援体制の充実を図っていきます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
27	P33 基本施策(5)	母子保健事業 (健診事後教室、子育て相談)	健診などにおいて、言葉の遅れや落ち着きのなさなどがみられる児童及び育児支援が必要な保護者に対して、相談や助言を行います。乳幼児の保護者に対して、育児や発育・発達に関する相談に応じ、個別に必要な指導、助言を行います。	健康 推進課	◎	健診事後教室「たんぽぽ教室」・子育て相談とも計画どおりに遂行しました。	継続	より利用しやすい教室・相談になるよう環境整備と適切なサービスが受けられるよう関係機関との連携を推進していきます。
28	P33 基本施策(5)	精神保健福祉事業 (こころの相談)	精神障がい者及びその家族などからの相談に応じ、医療機関の紹介や支援が必要な者に対しては適切なサービスが受けられるように支援します。	健康 推進課	◎	平成29年度11月30日末現在、面接、電話、訪問等で延べ176件の相談に対応しました。	継続	チラシ配布により相談窓口の周知を図り、関係機関との連携をより深めることで支援の充実を図ります。
29	P36 基本施策(6)	市民を守る地域活動検討会議	職員や市民、事業者が連携した「見守り」の体制を確立するための新規取組の実施に向けた調整、検討を行います。	安心 安全課	◎	「見守り」体制を検討する中で、市内事業者等と「地域見守り活動協定」事業を実施しています。現在、協定締結業者は71になり、締結業者を対象に年1回程度意見交換会を実施しています。	継続	今後、締結業者の更なる拡大に努めていきます。
30	P36 基本施策(6)	地域福祉に関する情報システムの活用	地域福祉の推進にむけた情報システムの活用を図ります。	情報課	○	現在運用しているホームページ作成システムは、アクセシビリティに対応した機能は備えており、アクセシビリティ改善を目的とした検証を行うことで情報を受け取りやすくできるよう図っていきます。	継続	他市町の状況の聞き取り及びホームページのアクセシビリティに関する外部の研修会等に参加し、現状の課題の洗い出し及び改善方法について検討していきます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
31	P36 基本施策(6)	認知症サポーター養成講座	地域において認知症に関する正しい理解を深め、支援を充実させるための講座を実施します。	長寿課	◎	市内の小学5年生と中学2年生に認知症サポーター養成講座を開講しました。また市民や市内事業所、市役所職員に対しても認知症サポーター養成講座を行い、日常生活や仕事の中で認知症の方に正しく接することができる「認知症にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。	充実	認知症サポーターを広く知ってもらうための活動を続け、またサポーター養成のため、市内で積極的に講座を開講していきます。
32	P36 基本施策(6)	ファミリーサポートセンター事業	子育て中の親が、仕事と育児を両立し、安心して子育てができる環境をつくれます。	子育て支援課	◎	平成28年度は、会員登録講習会を6回開催、登録会員数は援助会員76人、依頼会員600人、両方会員140人、活動件数は3,362件でした。会員相互の親睦を図るための交流会1回、援助会員向けのフォローアップ研修会を2回開催し、安心して子育てができる環境づくりに継続して取り組んでいます。	継続	ファミリーサポートセンター事業の周知に努め、登録会員数の増加を図ります。特に援助会員の増加に努め、事業の円滑な実施を図っていきます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
33	P38 基本施策(7)	【新規】 ごみの訪問収集	自らごみを収集場所に持ち出すことが困難な方を対象に個別の訪問回収を行うことにより、地域の見守り体制が確立できるよう検討します。	環境課	×	市のワンコインサービス事業や、長久手市シルバー人材センターのサービスを使い、ごみ出しの依頼をすることができるため、実施していません。	廃止 (H27)	既存のサービスの周知に努め、本事業は廃止します。
34	P38 基本施策(7)	福祉有償運送事業	高齢者、障がい者などの移動制約者の移動手段として、NPO法人などによる実費の範囲内での移送サービスを支援します。	福祉課	◎	実施事業所の拡大に向けて、高齢者事業所に調査を行いました。 また、ドライバー講習を昨年に引き続き実施していきます。	充実	調査結果をもとに事業所への周知を広め、実施事業所において継続して実施していきます。
35	P38 基本施策(7)	障がい者通所事業	障害者総合支援法に基づき、民間法人への指定管理により通所事業所を運営します。	福祉課	◎	民間法人の指定管理により障害者総合支援法に基づいたサービスを提供しました。	継続	指定管理事業所と連携し、事業内容の状況を把握し、改善等あれば都度指示していきます。
36	P38 基本施策(7)	ワンコインサービス事業	在宅高齢者に対し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、軽度な日常生活の援助をワンコイン(100円または500円)で行います。 サービス提供者も元気な高齢者であり、地域住民によるボランティア活動の推進を図ります。	長寿課	◎	平成28年度の登録世帯は186世帯、サービス提供者は6団体で69人、延べ利用件数は437件でした。 平成29年度は11月末までで、登録世帯221世帯、サービス提供者は6団体で71人、延べ利用件数は329件です。	継続	引き続き、サービス利用者や提供者の増加、事業内容の改善、充実を図っていきます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
37	P39 基本施策(7)	【新規】 病児・病後児保育事業	児童の病気時や回復期で集団保育が困難であり、保護者も就労などで保育できない時に利用できる保育サービスとして、病児・病後児保育を実施します。	子育て支援課	◎	病児、病後児保育を各1か所で実施しました。 平成29年度利用実績(11月末)病児221人、病後児9人 平成28年度利用実績 病児242人、病後児30人	充実	平成30年4月から市内で病児保育を開設します。
38	P39 基本施策(7)	成年後見センター事業	尾張東部成年後見センターへの委託により、判断力が不十分な認知症の高齢者、知的障害や精神障害のある方の財産や権利を守るための無料相談を実施します。	長寿課 福祉課	◎	首長申立件数は、平成28年度で高齢者2件、平成29年度は11月末現在で0件です。尾張東部成年後見センターにて、無料の相談を随時実施しているほか、月1回長久手市役所にて出張相談を行う案内を広報にて掲載しています。	継続	近隣市町と比べて、相談件数が少ないことから、成年後見制度の理解・普及に努めます。
39	P41 基本施策(8)	介護予防事業	高齢者が住み慣れたまちでいきいきと元気に過ごしていくために、運動、口腔、栄養、閉じこもり、認知の5つの項目に重点を置いた事業を実施し、要介護・要支援状態になることを防ぎます。	長寿課	◎	地域の集会所や老人憩の家など、市内19ヶ所でいきいき倶楽部を実施しています(H29.11月末現在の延べ参加人数は945人)。また、今年度からいきいき介護予防教室を福祉の家等で実施しています(同現在。述べ参加人数は236人)。	継続	より多くの方が参加できるように、開催場所、教室の内容等について検討していきます。
40	P41 基本施策(8)	家事援助型ホームヘルパー派遣事業	家事などが困難で、日常生活を営むのに支障があるひとり暮らし高齢者や後期高齢者世帯に対し、家事援助を行うホームヘルパーを派遣します。	長寿課	◎	平成27年度は45分未満の利用回数が49回、60分未満の利用回数が32回であり、利用者数は最高で月2名でした。平成28年度は1名増えましたが、事業は平成29年3月に終了します。	廃止 (H28)	介護保険改正による新しい総合事業に移行するため、事業を廃止します。
41	P41 基本施策(8)	高齢者等家具転倒防止事業	地震などでタンスや家具などの転倒による人的被害の発生を防止するため、家具転倒防止器具にかかる費用を助成します。	長寿課	◎	利用件数及び器具設置数は、26年度3件8組、27年度12件34組、28年度11件47組、29年度11月末現在3件10組です。 29年度からは、より多くの家具に対応できるよう、取付器具の種類を増やしました。	継続	大規模災害直後は防災意識が高まり、利用件数が一時的に増加するものの、時間の経過共に減少する傾向があるため、継続的な事業の充実や啓発に努めます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

【事業方針】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
42	P42 基本施策(8)	高齢者住宅改修事業補助金	手すりの設置や床の段差解消改修など、自宅の改修への補助金を支給します。	長寿課	◎	利用件数は、26年度5件1,500,000円、27年度10件2,731,354円、28年度15件4,222,850円、29年度11月末現在6件1,499,000円です。 29年度からは、日常生活用具給付金を統合し、電磁調理器への改修も対象事業としています。	継続	30年度も継続予定です。改修工事が必要な方への申請条件の周知に努めていきます。
43	P42 基本施策(8)	高齢者日常生活用具給付金	寝たきりやひとり暮らし高齢者などを対象に、介護保険のメニューにはない電磁調理器の給付などを行います。	長寿課	○	H28.12月現在で、申請者数が0人でした。事業の周知が不足していると考えられます。	廃止 (H28)	電磁調理器の使用は、火傷などのケガや失火を防ぐために有効です。事業の周知が進んでいる高齢者住宅改修事業の対象に組み入れることで、ケアが必要な方の安心安全な暮らしを確保していきます。
44	P42 基本施策(8)	高齢者防犯対策事業	高齢者宅への侵入盗などによる犯罪被害を防止するため、センサーライトの取り付けを推進します。	長寿課	◎	利用件数は、26年度11件、27年度8件、28年度15件、H29年度11月末現在13件です。29年度からは、それまでのソーラー式に加えコンセント式を導入したところ、コンセント式の利用が多く、当初の見込(8～10件)を上回っています。	継続	今後も犯罪被害の抑止につながるよう、事業の充実、啓発に努めていきます。
45	P42 基本施策(8)	【新規】 グループホーム運営支援	障がいのある方が、安心して生活できる環境を整えるため、生活の場としてのグループホームの確保に努めます。認知症高齢者グループホームとの連携も検討します。	福祉課	○	自立支援協議会福祉サービス支援部会においてグループホーム整備への支援について検討(体験利用の実施、補助金等)を行いました。 なお、認知症高齢者グループホームとの連携については、検討しておりません。	継続	引き続き自立支援協議会福祉サービス支援部会でグループホーム整備への支援に向けて検討(体験利用の実施、補助金等)を行い、開設に向けて協議していきます。 また、平成30年度予算にて体験利用のための予算を計上(600千円)
46	P42 基本施策(8)	【新規】 児童発達支援センター設置事業	障がいがある児童に対して、より充実した療育を実施するとともに、保護者が集い、情報交換などができる拠点となる施設を整備します。	子育て支援課	◎	自立支援協議会児童教育支援部会において、児童発達支援センターの整備を含めた療育支援体制の整備について検討を行いました。施設整備の基本指針となる「上郷保育園等改築基本構想」を策定しました。	継続	引き続き、療育支援体制の整備についての検討を行うとともに、「上郷保育園等改築基本構想」に従い、平成30年度から設計業務に着手していきます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

【事業方針】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
47	P45 基本施策(9)	ながくて幸せのモノサシづくり	市民一人ひとりが生活や地域社会の豊かさなどを測る新しいモノサシを持ち、市民と職員が協働して、課題解決するための仕組みづくりを行います。	経営 企画課	◎	幸せ実感アンケート結果や幸せにつながる活動を行う人・団体の取材等これまでの取組を踏まえ、平成28年度末に市民協働で「幸せのモノサシ」を完成させました。平成29年度は、それを広めるためのリーフレットづくりや講演会の企画・運営を市民協働で進めました。	継続	市民の主体の活動として、幸せのモノサシの周知や幸せにつながる活動を行う人・団体の取材等を継続していくことを目指します。そして、行政は、幸せのモノサシの活用に向け、市民とともに取り組んでいきます。
48	P45 基本施策(9)	生きがい活動型デイサービス事業	一人暮らし高齢者、75歳以上高齢者世帯の方などを対象に、日常動作訓練や趣味活動の提供を行い、身体的な機能の低下防止、生きがいづくりの援助を目指します。	長寿課	◎	平成27年度の延べ利用回数は157回で、月最大で4名の方が利用しました。平成28年度における12月末時点での延べ利用回数は112回で、月最大で5名の方が利用していますが、事業は平成29年3月に終了します。	廃止 (H28)	介護保険改正による新しい総合事業に移行するため、事業を廃止します。
49	P45 基本施策(9)	「食」の自立事業	一人暮らし高齢者などの健康の保持、食生活の改善、日常生活の助長を図るとともに、安否の確認を行うため、給食の宅配などを行います。	長寿課	◎	利用状況は、26年度24,915食、27年度32,424食、28年度33,276食、29年度11月末現在25,051食です。年々、利用者数、配食数共に増加しています。29年度から配食業者を2者にし、昼食と夕食を選択できるようにしました。	継続	利用者のニーズなどを把握しながら、利便性の向上、サービスの拡大を目指します。
50	P45 基本施策(9)	高齢者福祉浴・歩行浴優待事業	福祉の家にある温泉施設（福祉浴室・歩行浴室）の利用料を年10回無料にします。	長寿課	◎	優待利用回数について、歩行浴は26年度2,014件、27年度1,791件、28年度1,869件、29年度は11月末現在で1,484件です。福祉浴は、26年度2,917件、27年度2,849件、28年度2,789件、29年度は11月末現在で1,588件です。	継続	利用件数は年々緩やかに減少傾向にあるため、利用のあり方、周知方法等を検討します。
51	P45 基本施策(9)	高齢者文化施設優待事業	芸術文化施設を気軽に利用し、美術・芸術に親しむことで、外出の機会や生涯学習活動の促進を図ります。 トヨタ博物館を年1回、名都美術館を年3回まで無料で入館できます。	長寿課	◎	利用人数は、トヨタ博物館は26年度223名、27年度229名、28年度240名、29年度11月末現在100名です。 名都美術館は26年度738名、27年度1,026名、28年度794名、29年度11月末時点592名です。	継続	あったかあど協賛店舗拡充による外出促進、移動支援事業の見直しと合わせて、事業のあり方を検討します。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
4	P47 基本施策 (10)	【新規】 支え合いマップの作成 (再掲)	実際に地域に住む人が、地域に困っている人がいるのか、どのような人のつながりや支え合いがあるのかを再確認し、地域の見守り体制の充実を図ります。	福祉施策課	◎			
52	P47 基本施策 (10)	【新規】 地域福祉ポイント制度	ボランティアなどの地域活動への参加にポイントを付与することで、活動への参加を促し、市民が助け合い、地域福祉の向上を目指します。	福祉施策課	◎	平成28年4月から「ながくて地域スマイルポイント事業」として、市行事等への参加、福祉施設での活動、市民団体による奉仕活動（H29.1開始）に応じてポイントを付与しています。 【実績（11月末時点）】 登録者累計：1,205名、 対象活動：市行事等への参加48、福祉施設での活動34、市民団体活動件数216（H29.1開始）	継続	引き続き、事業への理解を深め、継続した事業参加者の定着を図るための啓発活動、将来的な事業展開等の見直し、検討をしていきます。
53	P49 基本施策 (11)	市内一斉防災訓練	市内全ての小学校を会場として、一斉に避難訓練や避難所運営訓練などを行い、個人、地域、行政、それぞれの役割を確認し、課題を発見することで、市全体の防災力を高めます。	安心安全課	◎	平成29年11月19日に市内一斉防災訓練を実施し、約3,900人の住民の方に参加していただきました。	継続	引き続き体験型訓練の充実を図り、参加者の防災意識の向上を目指します。
54	P49 基本施策 (11)	避難所運営ゲーム（HUG） 推進	避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験する避難所運営ゲーム（HUG）を通して、地域における防災意識向上を図ります。	安心安全課	◎	自主防災講習会の他に西小学校・東小学校の学校教職員、校務主任会にてHUGを実施しました。	充実	現在、自主防災講習会において、HUGを行っています。また、今年度、学校教職員を対象に、2小学校と校務主任会にてHUGを行いました。今後も防災意識の向上のために実施学校数を増やしていきます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
31	P49 基本施策(11)	認知症サポーター養成講座 (再掲)	地域において認知症に関する正しい理解を深め、支援を充実させるための講座を実施します。	長寿課	◎			
32	P49 基本施策(11)	ファミリーサポートセンター事業 (再掲)	子育て中の親が、仕事と育児を両立し、安心して子育てができる環境をつくれます。	子育て支援課	◎			
55	P51 基本施策(12)	避難行動要支援者登録事業	一人暮らし高齢者、障がい者など、災害などの緊急時に支援を要する人を要支援者として登録し、あらかじめ支援団体などに情報提供することで、要支援者が安心して暮らせる環境をつくれます。	福祉課	◎	避難行動要支援者名簿を活用し、一斉防災訓練で一部の地区で支援団体等と協力し安否確認訓練が実施できました。 また、登録者に対して、登録内容の確認を依頼するとともに、支援団体等に対して情報提供を行いました。	充実	避難行動要支援者の個別計画の策定に向けて、支援団体等と調整し進めていきます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
47	P54 基本施策(13)	ながくて幸せのモノサシづくり(再掲)	市民一人ひとりが生活や地域社会の豊かさなどを測る新しいモノサシを持ち、市民と職員が協働して課題解決するための仕組みづくりを行います。	経営企画課	◎			
56	P54 基本施策(13)	住民プロジェクト推進事業	若い世代を中心とした市民ワークショップを通じて、地域課題に対応したプロジェクトを企画・実施することで、次世代のまちづくりの担い手を発掘・育成し、市民一人ひとりに役割と居場所のあるまちの仕組みづくりを進めます。	たつせがある課	◎	市民と職員で構成される「なでラボ」メンバーが地域課題に対応したプロジェクトを企画・実施しています。	継続	「なでラボ」メンバーが企画・実施している地域課題に対応したプロジェクトを支援し、次世代のまちづくりの担い手を発掘・育成していきます。
57	P54 基本施策(13)	大学連携の推進	市内及び近隣に数多くある大学を地域資源として、また、学生と市民との交流を通してまちづくりに生かすよう連携事業を進めます。	たつせがある課	◎	市内4大学が出席する大学連携推進協議会を開催しながら、4大学が推薦する教員とともに、平成29年度3月の長久手市大学連携基本計画策定に向けて進めています。	継続	長久手市大学連携基本計画に基づき、学生の力を活用した取組を実施します。
58	P54 基本施策(13)	【新規】 地域福祉計画の推進	地域福祉計画の策定、推進を通して、地域内のネットワークづくりや住民同士の支援活動を広げ、福祉施策の総合的な推進を目指します。	福祉施策課	◎	社会福祉協議会と連携し、地域のネットワークづくり、市民活動への支援を進め、計画の総合的な推進を図っていきます。	継続	次期計画策定に向け、市民が主体となった計画づくり、活動につなげるため計画の推進を図ります。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
59	P54 基本施策(13)	地域と関わりのある学校行事(ふれあい学級(東小)、校区運動会、ボランティア感謝の会)	親子でのスポーツ、体験活動を通じて、地域の方とふれあい、交流することで地域との連携を深めます。登下校時の見守りをしてくれる地域の方に、児童から感謝の意を表します。	教育総務課	◎	東小では、9月30日に地区と学校合同でなかよし運動会を実施しました。ふれあい学級については、児童数増加のため実施困難になってきたため、28年度からユネスコスクール教育活動として、伝統芸能の継承や福祉交流を通して、地域との連携を深めました。また、全小学校で2月～3月に、ボランティアの方に感謝の意を表す感謝の会を行いました。	継続	今後も継続して、地域と関わりのある学校行事を行い、連携を深めていきます。
60	P54 基本施策(13)	キャラバン・メイト/認知症サポーター養成研修事業	認知症を正しく理解し、認知症の方やご家族をあたたく見守る「認知症サポーター」や講師役の「キャラバン・メイト」を養成します。	長寿課	○	市内小中学校の協力のもと、小学5年生、中学2年生を対象にサポーター養成講座を実施しています。キャラバンメイト養成研修についてはH26年度に実施した以降行っていません。H29年度はキャラバンメイト同士の交流を深める場を設けています。	継続	引き続き教育の場で認知症の理解が深まるよう、講座を実施していきます。キャラバンメイトについては、ステップアップ講座等の実施も検討していきます。
61	P54 基本施策(13)	【新規】健康マイレージ事業	市民、事業者、行政などが連携し、高齢になっても元気に日常生活が送れるよう日頃からの健康づくりへの取組みを支援します。	健康推進課	◎	広報5月号への折り込み、各種イベントでの配布等事業啓発に努め、平成30年1月15日現在で約160の方がマイレージを達成しました。	継続	今後も健康づくりに取組む人の拡大と定着化を促進するためのきっかけづくりとして事業の普及啓発に努めていきます。
17	P56 基本施策(14)	地域共生ステーション事業(再掲)	市民が集まり、語り、地域のための取組を行う拠点となる地域共生ステーションを各小学校区に整備し、地域の課題を地域で考え地域で取り組むまちづくりを推進します。	たつせがある課	◎			
4	P56 基本施策(14)	【新規】支え合いマップの作成(再掲)	実際に地域に住む人が、地域に困っている人がいるのか、どのような人のつながりや支え合いがあるのかを再確認し、地域の見守り体制の充実を図ります。	福祉施策課	◎			

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
62	P56 基本施策(14)	【新規】 障がい者就労施設などからの 物品などの調達	物品及び役務の調達において、障害者就労施設などへの提供機会の拡大を図り、障がい者の自立の促進を図ります。	福祉課 行政課	◎	障害者就労施設へ情報提供に努め、調達率については、対前年度比108%を達成しています。	継続	障害者就労施設へ情報提供に努め、引き続き障がい者就労施設などからの物品などの調達に努めます。
63	P56 基本施策(14)	障がい福祉事業所による 物品販売会	公共施設などにおいて、市内の障がい福祉事業所による販売会を定期的に行います。また、市役所における物品販売会も開催し、障がい者への理解を深め、障がい者の社会参加を推進します。	福祉課	◎	市役所及び福祉の家、商業施設等で定期的に行っており、市民への周知度も高まっています。	継続	今後も引き続き物品販売会を開催し、障がい者の社会参加を推進し、事業実施について支援していきます。
64	P58 基本施策(15)	社会福祉協議会補助事業	市の福祉行政において大きな役割を担っている社協に、社会福祉の推進を目的とする事業費などを補助します。	福祉施策課	◎	社会福祉協議会の職員体制の充実を図ると共に、地域福祉推進のための情報共通、連携に努めています。 H26年度 補助金額 86,378千円 H27年度 補助金額 94,639千円 H28年度 補助金額 93,607千円 H29年度 補助見込額 102,837千円	継続	今後も市福祉行政において、大きな役割を担うことを期待し、事業の必要性を精査しながら必要額を補助します。
65	P58 基本施策(15)	【新規】 地域福祉学習会	地区社協の設置に向けて、社協が各小学校区で開催する学習会の運営を支援します。 地域住民と社協職員・市職員が共に学び、地域の現状や課題について話し合うとともに、情報共有やネットワークづくりの場として活用します。	福祉施策課	◎	平成27年度に設置した西小、北小、市が洞小学校区の地区社協に加え、新たに南小地区での設置が決まりました(平成30年2月予定)。 今後も引き続き長小、東小地区の設置を目指し、地域福祉学習会の開催を支援します。	継続	地区社協設置に向けた学習会に随時取り組むための支援を行います。